

型試合規約（国際空手道連盟ルール・第2回ワールドカップ用）

1. 審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は3名以上の審判員がどちらか一方の旗を掲げて行う。引分は無い。審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。

2. 試合の区分 個人戦のみ。

3. 階級・型

各地区予選会は、2024年11月23日時点の年齢を基準にエントリーすること。

| 選抜階級 | 予選型 | 決勝型 |
|------------------|-----|-----|
| 小1(男女混合) | 太極Ⅲ | 平安Ⅰ |
| 小2(男女混合) | 太極Ⅲ | 平安Ⅰ |
| 小3(男女混合) | 平安Ⅰ | 平安Ⅱ |
| 小4(男女混合) | 平安Ⅰ | 平安Ⅱ |
| 小5(男女別) | 平安Ⅱ | 平安Ⅳ |
| 小6(男女別) | 平安Ⅱ | 平安Ⅳ |
| 中学生(男女) | 平安Ⅳ | 平安Ⅴ |
| シニア女子(48歳以上) | 最破 | 征遠鎮 |
| マスター女子(35歳~47歳) | 最破 | 征遠鎮 |
| グランドシニア男子(60歳以上) | 撃砕大 | 征遠鎮 |
| シニア男子(50歳以上) | 撃砕大 | 征遠鎮 |
| マスター男子(38歳~49歳) | 突き型 | 征遠鎮 |
| 一般女子(高校生以上) | 撃砕小 | 十八 |
| 一般男子(高校生以上) | 撃砕小 | 十八 |

4. 試合の方法

【個人戦】

各階級指定型を単独で行う。予選では、2-3名の審判員が評価基準に基づき採点を行う（内1名は主審とする）。

各審判は基準点の高い順に1位10p、2位8p、3位6p、4位4p、5位2pを付与し、各審判のポイント合計の高い順に順位を決定する。また、同点の場合は、主審の採点により順位を決定する。

各階級5名以上の出場者がある場合、準決勝戦を行う。

予選～準決勝まで予選型、決勝戦が決勝型で行い、準決勝（予選2位、3位）及び決勝戦（予選1位準決勝の勝者）は旗判定（3人以上の審判）により決着する。

5. 着衣 選手は清潔な空手着を着用しゼッケンがある場合は背中中央に貼り付けること。袖、裾の折り返しを禁ずる。

6. 評価基準 基礎点と芸術点により、評価を行う。

| 基準点 (50点満点) | | |
|----------------|-----------------|----------------------|
| 基礎点(25点満点・減点法) | 芸術点 (25点満点・加算法) | |
| 基本動作 | 雄大さ【小学生以下は元気】 | 呼吸の出し入れ(気の吸収/充満/解放力) |
| 技の正確性 | 力強さ【男子】 | 表現力(意図した動作の表現) |
| 下半身の安定・バランス | 技の優雅さ【女子】 | 躍動感 |
| 気合・気迫 | 連動性(技、呼吸、身体) | 負荷をかけてるか(簡素化してない) |
| 予備動作・体軸・移動軸のぶれ | 姿勢・目線(目付) | |

7. 失格 ①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合失格となります。

②出場時刻に遅れたり、出場しないとき。

③申告した型と異なる型を演技した時、又は演技を途中で中断したとき。

8. その他 ①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象としません。

②判定に対する抗議は一切認めません。